

無形民俗文化財の保存・活用に関する調査研究 ^(△02)

研究組織 久保田裕道、石村智、今石みぎわ(以上、無形文化遺産部)、後藤知美(無形文化遺産部併任、文化財防災センター)

目的 風俗慣習、民俗芸能、民俗技術等無形民俗文化財のうち、近年の変容の著しいものを中心に、その実態を把握するために資料収集と現地調査を行う。また、無形民俗文化財研究協議会を実施し、その成果を報告書にまとめる。さらに、これまで収集・保管してきた無形民俗文化財についての記録・資料の整理を行う。また選定保存技術については、国により選定された技術及び未選定の技術について情報を収集し、その中で重要なものについては現地調査・記録作成を行う。

成果

1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実地調査を控え、感染症が無形民俗文化財に与える影響について情報を収集するとともに、継続的な調査も行った。継続的研究として風俗慣習分野では正月儀礼等について、民俗芸能分野ではシシ系芸能や武術を伴う芸能等について、民俗技術分野として箕の製作技術等について、伝承や保護の実態についての情報収集を行っている。
2. 無形文化遺産の防災に関する調査研究として、東日本大震災被災地である宮城県女川町、福島県浪江町菟宿地区の調査を継続。また無形文化遺産総合データベースの改修を進め、あわせて映像アーカイブスとライブラリーの構築を行った。
3. 第16回無形民俗文化財研究協議会を「映像記録の危機を乗り越えるためにー」をテーマに12月17日に開催し、6件の事例報告及び登壇者による総合討議を行った。その模様は映像配信を行い(令和4年1月15日～2月15日公開)、成果は『第16回無形民俗文化財研究協議会報告書』にまとめた。
4. 選定保存技術については、金属煮色着色の技術に関する映像記録の編集作業を実施(令和2年度国宝重要文化財等保存・活用事業「金属煮色着色文化財保存技術伝承事業」における記録を行った。

論文

- 久保田裕道「無形文化遺産としての『生活文化』」『無形文化遺産研究報告』16 pp.87-101 22.3

報告

- 久保田裕道「無形文化遺産に関する情報の記録と活用について」『第29回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会報告書』文化遺産国際協力コンソーシアム pp.13-18、27-35 22.3

発表

- 久保田裕道「Diversity in intangible cultural heritage as seen through lion dances」Unesco Mongolian National Commission /ICHCAP オンライン 21.9.10
- 今石みぎわ「映像による記録作成とアーカイブ化にかかわる実践的課題」国立歴史民俗博物館共同研究「映像による民俗誌の叙述に関する総合的研究ー制作とアーカイブスの実践的方法論の検討」第1回研究会 オンライン 21.6.12
- 後藤知美「地域社会に残された水害の記憶ー水害常襲地・埼玉県の実例からー」東京文化財研究所令和3年度第5回総合研究会 東京文化財研究所 22.2.1

刊行物

- 東京文化財研究所編『第16回無形民俗文化財研究協議会報告書』22.3



感染症対策をして開催された南信州獅子舞フェスティバル(長野県飯田市)

東文研 総合検索 (④シ05の一部として実施)

東京文化財研究所が所蔵する図書や雑誌、展覧会カタログ、画像等の資料、東京文化財研究所の定期刊行物、国内外の美術関係文献等について、メタデータを横断的に検索することが可能なウェブデータベースで、デジタルデータを公開する「研究資料データベース」も含め、29件のデータベース、約172万件のデータを検索対象とする。検索画面は日英両言語に対応している。当研究所の定期刊行物については、本文のPDFデータを閲覧することも可能である。なお、日本国外における美術展覧会・映画祭開催情報、及び日本国外で出版された書籍情報に関しては、英国セインズベリー日本藝術研究所が採録した情報を受け入れている。

www.tobunken.go.jp/archives/

研究資料データベース (④シ05の一部として実施)

東京文化財研究所が作成、収集した研究資料の画像データやテキストデータを検索・閲覧することができるウェブデータベース。現在、24件のデータベース、10万件余りのデータを公開しており、全てのデータベースを横断的に検索可能で、一部を除き「東文研 総合検索」からの横断検索にも対応している。

www.tobunken.go.jp/materials/

インターネット公開 及川尊雄旧蔵 紙媒体資料目録データベース (①ム01の一部として実施)

本目録は、当研究所に寄附された、日本の伝統楽器や関連資料の蒐集家・^{おいかわたか お}及川尊雄氏（1942-2018）旧蔵紙媒体資料（2,208点）のWebデータベースである。先の『及川尊雄収集 紙媒体資料目録』（2021年3月、当研究所無形文化遺産部）刊行後に見つかった資料を加えた上で、当研究所に寄附された資料に絞り込んで、ひとまとまりの資料として捉えた方がよいメモ類などを再整理した。併せて、資料の基本情報に内容に関連するキーワードを加え、より幅広い研究活用に供するWebデータベースとして公開した。

www.tobunken.go.jp/materials/oikawa

いんたんじぶる (①ム02の一部として実施)

無形文化遺産の情報収集・情報発信を目的として作成した一般向けサイトで、改修を行った。「コレクション欄」の「動画アーカイブ」「ボックス」のページから無形文化遺産関連動画、関連PDFへのアクセスが可能。「無形文化遺産総合データベース」への導入的役割を果たすとともに、伝承者と研究者や関係者とのネットワーク構築を目指す。